

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	浜松学院大学
設置者名	学校法人興誠学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部等 共通 科目	専門 科目	合計		
現代コミュニケーション学部	子どもコミュニケーション学科	夜・通信	15		141	156	13	
	地域共創学科	夜・通信			52	67	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学HP学部紹介ページ (https://www.hamagaku.ac.jp/hgu/introduction/school/#shirabasu) 内に各学科の「実務経験のある教員による授業科目の一覧表」を掲載

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	浜松学院大学
設置者名	学校法人興誠学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://hamagaku.ac.jp/kosei/disclosure/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(株)浜名湖国際頭脳センター 常勤監査役	2022. 7. 1- 2025. 6. 30	財務・経営計画
非常勤	現 税理士事務所顧問	2022. 7. 1- 2025. 6. 30	財務・経営計画
(備考) 7名の外部理事のうち特に役割を期待して招いている2名につき記載			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	浜松学院大学
設置者名	学校法人興誠学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) シラバスは、Web上で公開し、履修登録時にワンクリックで確認できるようになっている。シラバスには、授業の到達目標や概要、授業計画をはじめ、成績評価方法や成績評価基準、授業外における必要な学修時間とその内容、授業科目とディプロマ・ポリシーとの関連、ナンバリング等について明示している。 例年1月に各授業担当教員にシラバス作成を依頼し、2月末までを作成期限としている。シラバス作成の手段はweb入力とし、各担当教員が作成期限まで24時間編集できる状態である。シラバス作成時の注意点に関しては、依頼時に必須項目、成績評価方法、必要な準備学習の具体的内容及びそれに必要な時間等の説明を行っている。3月に入力完了されたシラバスを教務担当職員がチェックを行い、修正期間を経て前期オリエンテーション時に当該年度のシラバスを公表する。	
授業計画書の公表方法	本学ホームページ内シラバス検索システム https://hgujsys2.hgu.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) シラバス記載の成績評価方法、成績評価基準及び浜松学院大学履修に関する規程に従って厳格かつ適正に単位授与を実施している。成績発表後は成績に関する問い合わせ期間を設け、学生からの問い合わせには授業担当教員が回答をしている。 また、学修成果の指標として、GPA制度を活用しており、カリキュラムマップの分類ごとのGPA分布を検証することで学習成果の到達度を測るほか、学修指導や各種奨学生、本学特待生、学長表彰の選考などの参考資料に活用している。履修登録時には、前学期のGPAが3.0以上の学生には次学期の履修上限単位数を2単位超えて履修可能としている。 なお、両学科とも「卒業研究」を必修科目としており、4年次の1年間をかけて論文にまとめ、作成した論文について口頭試問を経て評価を受けている。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

「秀」または「S」	90～100点	合格
「優」または「A」	80～89点	
「良」または「B」	70～79点	
「可」または「C」	60～69点	

「不可」または「F」 60点未満 不合格

また、学業成績を計る基準として、GPA（グレート・ポイント・アベレージ）制度を採用している。

GPAは下記のとおり、学期ごとに各登録科目の成績評価を「4」、「3」、「2」、「1」、「0」と科目GPに換算し、それに各授業科目単位数を乗じ、その総和を登録科目総単位数で除して算出する。

成績評価（100点満点）	科目GP（グレート・ポイント）
90～100点	4
80～89点	3
70～79点	2
60～69点	1
60点未満及び放棄	0

$$GPA = \frac{\text{（科目の単位数} \times \text{科目GP）履修登録した総和}}{\text{登録科目総単位数}}$$

※小数点第3位以下を四捨五入とする。

累積GPAは下記のとおり、入学時から得た科目の取得ポイントを通算し、それを通算の登録科目総単位数で除して算出する。

$$\text{累積GPA} = \frac{\text{（入学時からの科目の取得ポイント）の通算}}{\text{（通算の登録科目総単位数）}}$$

※小数点第3位以下を四捨五入とする。

GPA及び累積GPAの対象となる科目は、卒業に必要な科目のみであるが、開講時期の都合により定められた成績判定期日までに成績評価のできない科目（例 開講期を跨ぐ科目、集中講義 等）及び「総合科目Ⅰ」、「総合科目Ⅱ」については除外している。学生及び保証人には、それぞれ配布（送付）される成績表に明示して通知している。

成績不振者については、各学科長が指導を行い、連続する2学期において、各学期のGPAが共に1.00に満たなかった場合は、学部長が保護者同席の上、厳重注意を行う。また、連続する4学期において、各学期のGPAがともに0.50に満たなかった場合は、学部長厳重注意において退学勧告を行う。

客観的な指標の 算出方法の公表方法	本学 HP : https://www.hamagaku.ac.jp/hgu/introduction/school/document/gpa.pdf 及び学生便覧にて公表している
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与方針) に以下の通り定めている。

現代コミュニケーション学部

ディプロマポリシー

現代コミュニケーション学部は、以下に掲げる知識や能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し、学士 (現代コミュニケーション) の学位を授与します。

1. 高潔な倫理観に立って、他を思いやることができる豊かな人間性を身につける。
2. 地域やグローバル社会に対応できる幅広い教養と専門的知識を活用して、課題解決できる力を身につける。
3. 「実践練磨」の場における共生協調能力を身につける。

地域共創学科

ディプロマポリシー

1. 高潔な倫理観に立って、地域を愛し、地域に貢献することができる豊かな人間性を身につける。
2. グローバル化し、変容する社会に対応できる幅広い教養と実践力を活用して、地域社会の課題を解決できる力を身につける。
3. 地域社会におけるさまざまなフィールドにおいて「実践練磨」の場に生きる共生協調能力を身につける。

知識・理解	様々な分野の知識を学び、理解することで、複数分野の知識を応用して多面的に考察することができる。また、地域の政策や経営、観光、グローバル化に関する専門的な知識を体系的に学び身につけることで、地域社会の課題解決に必要な理論を理解し、活用することができる。
思考・判断	グローバル化し、変容する地域社会の課題に対し、情報を収集分析し、身に付けた様々な知識や技術、経験をもとに、多面的な視点から論理的かつ倫理的に判断し、解決策を考え、行動することができる。
関心・意欲	地域を愛し、地域に貢献することへの使命感を持ち、地域社会の課題解決に対する意欲をもって学びを継続することができる。
共生協調能力	地域社会において、多様な個性や価値観があることを理解し、そこに住む人々や、地域産業などそれぞれの立場に寄り添った地域貢献ができる。また、自身の考えを他者に正しく伝えつつ、他者の意見も尊重することで、仲間や周囲の人と協力し主体的に活躍できる。

子どもコミュニケーション学科

ディプロマポリシー

1. 高潔な倫理観に立って、慈愛をもって子どもと関わるることができる豊かな人間性を身につける。
2. 変革する教育・保育、子ども社会に対応できる幅広い教養と実践力を活用して、課題解決できる力を身につける。
3. 教育・保育現場における実践練磨の場に生きる共生協調能力を身につける。

知識・理解	様々な分野の知識を学び、理解することで、複数分野の知識を応用して多面的に考察することができる。また、教育に関する専門的な知識を体系的に学び身につけることで、教育の実践に関する理論を理解し、活用することができる。
思考・判断	様々な教育的課題に対し、情報を収集分析し、身に付けた様々な知識や技術、経験をもとに、多面的な視点から論理的かつ倫理的に判断し、解決策を考え、行動することができる。
関心・意欲	理想とする保育者像、教育者像を追求し、子どもや児童生徒の教育・保育に対する意欲をもって学びを継続することができる。
共生協調能力	教育現場において、多様な個性や価値観があることを理解し、多様な子どもや児童、その保護者に慈愛をもって寄り添うことができる。また、自身の考えを他者に正しく伝えつつ、他者の意見も尊重することで、仲間や周囲の人と協力し主体的に活躍できる。
また、卒業の要件について、学則第 33 条に、「本学を卒業するためには、学生は 4 年以上在学し、別表に定めるところにより、124 単位以上を修得しなければならない。」と定められており、卒業について、学則第 34 条に、「本学に 4 年以上在学し、本学則に定める授業科目及び単位数を修得した者については、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定する。」「2 学長は、卒業を認定した者に対して、卒業証書を授与する。」と定められている。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	本学 HP https://www.hamagaku.ac.jp/hgu/introduction/school/ 及び学生便覧にて公表している

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	浜松学院大学
設置者名	学校法人興誠学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://hamagaku.ac.jp/kosei/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	〃
財産目録	〃
事業報告書	〃
監事による監査報告(書)	〃

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:	対象年度:
公表方法:	
中長期計画(名称:	対象年度:
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 本学ホームページ https://www.hamagaku.ac.jp/hgu/guide/evaluation/
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名	
教育研究上の目的（公表方法：本学 HP、 https://www.hamagaku.ac.jp/hgu/guide/kyouiku/#a01 にて公表）	
（概要） 本学は、教育基本法及び学校教育法の規定するところに従い、高潔なる倫理観に立って他を思いやることができる真に豊かな人間性を涵養するとともに、問題の本質を見極められる判断力、変化に対応できる創造力・実践力、さらには多様なコミュニケーション能力を身につけた、地域社会と人類全体に貢献できる人材を育成することを目的としています。	
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：本学 HP、 https://www.hamagaku.ac.jp/hgu/introduction/school/ https://www.hamagaku.ac.jp/hgu/introduction/chikyo/ https://www.hamagaku.ac.jp/hgu/introduction/kokomi/ にて公表）	
（概要） 現代コミュニケーション学部 ディプロマポリシー 現代コミュニケーション学部は、以下に掲げる知識や能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し、学士（現代コミュニケーション）の学位を授与します。 1. 高潔な倫理観に立って、他を思いやることのできる豊かな人間性を身につける。 2. 地域やグローバル社会に対応できる幅広い教養と専門的知識を活用して、課題解決できる力を身につける。 3. 「実践練磨」の場における共生協調能力を身につける。 地域共創学科 ディプロマポリシー 1. 高潔な倫理観に立って、地域を愛し、地域に貢献することのできる豊かな人間性を身につける。 2. グローバル化し、変容する社会に対応できる幅広い教養と実践力を活用して、地域社会の課題を解決できる力を身につける。 3. 地域社会におけるさまざまなフィールドにおいて「実践練磨」の場に生きる共生協調能力を身につける。	
知識・理解	様々な分野の知識を学び、理解することで、複数分野の知識を応用して多面的に考察することができる。また、地域の政策や経営、観光、グローバル化に関する専門的な知識を体系的に学び身につけることで、地域社会の課題解決に必要な理論を理解し、活用することができる。
思考・判断	グローバル化し、変容する地域社会の課題に対し、情報を収集分析し、身に付けた様々な知識や技術、経験をもとに、多面的な視点から論理的かつ倫理的に判断し、解決策を考え、行動することができる。
関心・意欲	地域を愛し、地域に貢献することへの使命感を持ち、地域社会の課題解決に対する意欲をもって学びを継続することができる。
共生協調能力	地域社会において、多様な個性や価値観があることを理解し、そこに住む人々や、地域産業などそれぞれの立場に寄り添った地域貢献ができる。また、自身の考えを他者に正しく伝えつつ、他者の意見も尊重することで、仲間や周囲の人と協力し主体的に活躍できる。

子どもコミュニケーション学科
ディプロマポリシー

1. 高潔な倫理観に立って、慈愛をもって子どもと関わることができる豊かな人間性を身につける。
2. 変革する教育・保育、子ども社会に対応できる幅広い教養と実践力を活用して、課題解決できる力を身につける。
3. 教育・保育現場における実践練磨の場に生きる共生協調能力を身につける。

知識・理解	様々な分野の知識を学び、理解することで、複数分野の知識を応用して多面的に考察することができる。また、教育に関する専門的な知識を体系的に学び身につけることで、教育の実践に関する理論を理解し、活用することができる。
思考・判断	様々な教育的課題に対し、情報を収集分析し、身に付けた様々な知識や技術、経験をもとに、多面的な視点から論理的かつ倫理的に判断し、解決策を考え、行動することができる。
関心・意欲	理想とする保育者像、教育者像を追求し、子どもや児童生徒の教育・保育に対する意欲をもって学びを継続することができる。
共生協調能力	教育現場において、多様な個性や価値観があることを理解し、多様な子どもや児童、その保護者に慈愛をもって寄り添うことができる。また、自身の考えを他者に正しく伝えつつ、他者の意見も尊重することで、仲間や周囲の人と協力し主体的に活躍できる。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学 HP、
<https://www.hamagaku.ac.jp/hgu/introduction/school/>
<https://www.hamagaku.ac.jp/hgu/introduction/chikyo/>
<https://www.hamagaku.ac.jp/hgu/introduction/kokomi/>にて公表）

（概要）

現代コミュニケーション学部
カリキュラムポリシー

現代コミュニケーション学部では、実学教育を行う中で、以下の目標が達成できるようアクティブ・ラーニングに基づく DiCoRes プログラムを中核とした教育課程を編成しています。

1. 人を思いやることができる人間性を涵養し、責任を持って行動する力を修得する。
2. 幅広い教養と専門分野に関する知識・技術を学修し、それらを活用して諸課題を解決していく判断力・創造力・実践力を修得する。
3. 人々と活動する中で、多様なコミュニケーション能力を高め、リーダーシップを発揮する力を修得する。

地域共創学科

カリキュラムポリシー

1. 地域社会のさまざまなフィールドでの学びを通して豊かな人間性を涵養するとともに、責任ある自己実現力を修得する。
2. グローバル化し、変容する地域社会のさまざまなフィールドにおける幅広い分野と専門分野に関する知識・技術を習熟し、それらを活用して諸課題を解決していく判断力・創造力・実践力を修得する。
3. 地域社会のさまざまなフィールドにおいて活動する中で、多様なコミュニケーション能力を高め、リーダーシップを発揮する力を修得する。

子どもコミュニケーション学科 カリキュラムポリシー 1. 教育・保育実践を通して豊かな人間性を涵養するとともに、責任ある自己実現力を修得する。 2. 教育・保育に関する幅広い教養と専門的知識・技能に習熟し、それらを活用して課題を解決していく判断力・創造力・実践力を修得する。 3. 子どもに関わる協同的な活動をする中で、多様なコミュニケーション能力を高め、リーダーシップを発揮する力を修得する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学 HP、 https://www.hamagaku.ac.jp/hgu/introduction/school/ https://www.hamagaku.ac.jp/hgu/introduction/chikyo/ https://www.hamagaku.ac.jp/hgu/introduction/kokomi/にて公表）
（概要） 現代コミュニケーション学部 アドミッションポリシー 現代コミュニケーション学部では、建学の精神と教育理念に共鳴する以下の者を受け入れます。 1. 大学での学修にふさわしい基礎学力を有し、地域や世界の現状、あるいは教育や保育に関心を持つ者 2. 地域や社会の課題解決、発展に寄与することに使命を感じる者 3. コミュニケーション能力の向上に意欲を持ち、創造性豊かで行動力のある者 地域共創学科 アドミッションポリシー 1. 大学での学修にふさわしい基礎学力を有し、地域社会への貢献に強い関心を持つ者 2. グローバル化し、変容する地域社会の諸課題の解決及び発展に寄与することに使命を感じる者 3. コミュニケーション能力の向上に意欲を持ち、地域社会の変革に取り組み、創造性豊かで行動力のある者 子どもコミュニケーション学科 アドミッションポリシー 1. 大学での学修にふさわしい基礎学力を有し、教育・保育に強い関心を持つ者。 2. 教育・保育の抱える諸課題の解決及び発展に寄与することに使命を感じる者。 コミュニケーション能力の向上に意欲を持ち、教育・保育に関して創造性豊かで行動力のある者。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学ホームページ <https://hamagaku.ac.jp/hgu/guide/kyouiku/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	1 人	－					1 人
現代コミュニケーション	－	13 人	10 人	5 人	1 人	0 人	29 人
	－	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0 人		40 人					40 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： 本学ホームページ https://www.hamagaku.ac.jp/hgu/introduction/educators/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
現代コミュニケーション	140 人	87 人	62.1%	600 人	395 人	65.8%	若干名人	5 人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	140 人	87 人	62.1%	600 人	395 人	65.8%	若干名人	5 人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
現代コミュニケーション	126 人 (100%)	0 人 (0%)	118 人 (93.7%)	8 人 (6.3%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	126 人 (100%)	0 人 (0%)	118 人 (93.7%)	8 人 (6.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) スズキ株式会社、日本郵便株式会社、遠州鉄道株式会社、JA とびあ浜松、静岡県特別支援学校、静岡県公立小学校、浜松市公立小学校、聖隷福祉事業団ほか				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 1 月に各授業担当教員にシラバス作成を依頼し、2 月末までを作成期限としている。シラバス作成の手段は web 入力とし、各担当教員が作成期限まで 24 時間編集できる状態である。シラバス作成時の注意点に関しては、依頼時に必須項目、成績評価方法、必要な準備学習の具体的内容及びそれに必要な時間等の説明を行っている。3 月に入力完了されたシラバスを教務担当職員がチェックを行い、修正期間を経て前期オリエンテーション時に当該年度のシラバスを公表する。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

シラバス記載の成績評価方法、成績評価基準及び浜松学院大学履修に関する規程に従って厳格かつ適正に単位授与を実施している。成績発表後は成績に関する問い合わせ期間を設け、学生からの問い合わせには授業担当教員が回答をしている。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価は100点満点で行い、下記の基準により判定し、合格の場合にのみ単位を認定している。

「秀」または	「S」	90～100 点	合格
「優」または	「A」	80～ 89 点	
「良」または	「B」	70～ 79 点	
「可」または	「C」	60～ 69 点	

| 「不可」または「F」 | 60 点未満 | 不合格 |

また、学業成績を計る基準として、GPA（グレート・ポイント・アベレージ）制度を採用している。GPAは下記のとおり、学期ごとに各登録科目の成績評価を「4」、「3」、「2」、「1」、「0」と科目GPに換算し、それに各授業科目単位数を乗じ、その総和を登録科目総単位数で除して算出する。

	成績評価（100 点満点）	科目 G P（グレート・ポイント）
	90～100 点	4
	80～89 点	3
	70～79 点	2
	60～69 点	1
	60 点未満及び放棄	0
G P A＝（科目の単位数×科目 G P）履修登録した総和 登録科目総単位数 ※小数点第 3 位以下を四捨五入とする。 累積 G P A は下記のとおり、入学時から得た科目の取得ポイントを通算し、それを通算の登録科目総単位数で除して算出する。 累積 G P A＝（入学時からの科目の取得ポイント）の通算 （通算の登録科目総単位数） ※小数点第 3 位以下を四捨五入とする。 G P A 及び累積 G P A の対象となる科目は、卒業に必要な科目のみとし、学生及び保証人にそれぞれ配布（送付）される成績表に明示される。 成績不振者については、各学科長が指導を行い、連続する 2 学期において、各学期の G P A が共に 1.00 に満たなかった場合は、学部長が保護者同席の上、嚴重注意を行う。また、連続する 4 学期において、各学期の G P A がともに 0.50 に満たなかった場合は、学部長嚴重注意において退学勧告を行う。 （卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）に以下の通り定めている。 現代コミュニケーション学部 ディプロマポリシー 現代コミュニケーション学部は、以下に掲げる知識や能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し、学士（現代コミュニケーション）の学位を授与します。 1. 高潔な倫理観に立って、他を思いやることのできる豊かな人間性を身につける。 2. 地域やグローバル社会に対応できる幅広い教養と専門的知識を活用して、課題解決できる力を身につける。 3. 「実践練磨」の場における共生協調能力を身につける。 地域共創学科 ディプロマポリシー 1. 高潔な倫理観に立って、地域を愛し、地域に貢献することのできる豊かな人間性を身につける。 2. グローバル化し、変容する社会に対応できる幅広い教養と実践力を活用して、地域社会の課題を解決できる力を身につける。 3. 地域社会におけるさまざまなフィールドにおいて「実践練磨」の場に生きる共生協調能力を身につける。		
知識・理解	様々な分野の知識を学び、理解することで、複数分野の知識を応用して多面的に考察することができる。また、地域の政策や経営、観光、グローバル化に関する専門的な知識を体系的に学び身につけること	

	で、地域社会の課題解決に必要な理論を理解し、活用することができる。
思考・判断	グローバル化し、変容する地域社会の課題に対し、情報を収集分析し、身に付けた様々な知識や技術、経験をもとに、多面的な視点から論理的かつ倫理的に判断し、解決策を考え、行動することができる。
関心・意欲	地域を愛し、地域に貢献することへの使命感を持ち、地域社会の課題解決に対する意欲をもって学びを継続することができる。
共生協調能力	地域社会において、多様な個性や価値観があることを理解し、そこに住む人々や、地域産業などそれぞれの立場に寄り添った地域貢献ができる。また、自身の考えを他者に正しく伝えつつ、他者の意見も尊重することで、仲間や周囲の人と協力し主体的に活躍できる。

子どもコミュニケーション学科
ディプロマポリシー

1. 高潔な倫理観に立って、慈愛をもって子どもと関わるができる豊かな人間性を身につける。
2. 変革する教育・保育、子ども社会に対応できる幅広い教養と実践力を活用して、課題解決できる力を身につける。
3. 教育・保育現場における実践練磨の場に生きる共生協調能力を身につける。

知識・理解	様々な分野の知識を学び、理解することで、複数分野の知識を応用して多面的に考察することができる。また、教育に関する専門的な知識を体系的に学び身につけることで、教育の実践に関する理論を理解し、活用することができる。
思考・判断	様々な教育的課題に対し、情報を収集分析し、身に付けた様々な知識や技術、経験をもとに、多面的な視点から論理的かつ倫理的に判断し、解決策を考え、行動することができる。
関心・意欲	理想とする保育者像、教育者像を追求し、子どもや児童生徒の教育・保育に対する意欲をもって学びを継続することができる。
共生協調能力	教育現場において、多様な個性や価値観があることを理解し、多様な子どもや児童、その保護者に慈愛をもって寄り添うことができる。また、自身の考えを他者に正しく伝えつつ、他者の意見も尊重することで、仲間や周囲の人と協力し主体的に活躍できる。

また、卒業の要件について、学則第 33 条に、「本学を卒業するためには、学生は 4 年以上在学し、別表に定めるところにより、124 単位以上を修得しなければならない。」と定められており、卒業について、学則第 34 条に、「本学に 4 年以上在学し、本学則に定める授業科目及び単位数を修得した者については、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定する。」「2 学長は、卒業を認定した者に対して、卒業証書を授与する。」と定められている。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な 単位数	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
現代コミュニケーション学部	子どもコミュニケーション学科	124 単位	④・無	1 セメスター当たり 28 単位
	地域共創学科	124 単位	④・無	1 セメスター当たり 24 単位
G P A の活用状況 (任意記載事項)		公表方法：本学 HP： https://www.hamagaku.ac.jp/hgu/introduction/school/document/gpa.pdf 及び学生便覧にて公表している		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：

本学ホームページ <https://www.hamagaku.ac.jp/hgu/campus/map/>

学生便覧（新入生オリエンテーションで配布）

大学案内（学校説明会、オープンキャンパス等で配布）

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
現代コミュニケーション	地域共創	660,000 円	280,000 円	310,000 円	施設設備費等
	子どもコミュニケーション	660,000 円	280,000 円	310,000 円	施設設備費等

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

（概要）

給付を対象とした入学試験を受験した者のうち成績上位者へ 10～40 万円を給付する入学時成績給付、3 年次・4 年次の学生を対象に前年度の学業成績の優秀者へ 10～40 万円を給付する在学成績給付、給付を対象とした入学試験を受験した外国人の経済的困窮者のうち成績上位者へ 10～40 万円を給付する外国人経済的困難給付、給付を対象とした入学試験を受験した経済的困窮者のうち成績上位者へ施設設備費・教育充実費全額又は半額を給付する経済的困難給付の複数の給費生制度を設けている。また、本学独自の奨学金制度及び通学費・住居費支援制度を設け修学を経済面から支援している。学習面では、1 年次よりゼミ担当教員がアドバイザーとなり履修・学習指導を行っている。障害を有する学生に対しては、合理的配慮の申請に基づき通常の授業時及び期末試験時に合理的配慮を講じている。また、2022 年度より留学生支援チューター制度を実施している。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

（概要）

教職員で構成される「キャリア支援委員会」が中心となり、求められる人材を育成するため、一人ひとりの個性に合わせた、きめ細かな就職支援を行っている。併せて、教職者・保育者を目指す学生のため「教職センター」を設置して教員になるための様々な支援を行っている。

① 3 年次から全員と個別面談を行い、個々のニーズに合ったキャリア支援を実施。

② 就職活動に必要なコミュニケーション能力、基礎学力、職業人意識、ビジネスマナーをビジネスリテラシーと捉え、必要な知識・スキルを着実に身に付けさせるため、2～3 年次にキャリア支援科目を設置している。

③ 企業で 3 か月間インターンシップを行う本学独自の地域共創学科カリキュラム「長期企業内留学」を実施。

④ 就職試験筆記対策講座および公務員試験対策講座の開催。

⑤ 幼児教育・保育専攻学生に特化した保育職試験対策講座・模擬試験の実施。

⑥ 小学校・特別支援教育専攻学生に特化した勉強会、模擬試験、試験対策講座の実施。

⑦ 資格取得・公務員試験合格奨励金の給付。

⑧ その他

・学科別職員支援体制で、学生に寄り添った支援を実施。

・キャリアカウンセラーによるカウンセリングを実施。

・人事・採用担当者からの情報収集と学生への情報提供。

・業界研究、採用試験対策のため、キャリア支援室に書籍・問題集等を設置、貸出。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

学生の心身に関する健康相談は、「浜松学院大学学生相談に関する内規」に基づき健康管理センターが学生相談の窓口となり、学務委員会と連携して対応を行っている。健康管理センターでは、学生が気軽に訪れることができ、かつ適切な助言ができる環境作りに努めており、必要に応じてカウンセリングに繋げている。

経済的支援をはじめとする学生生活に関する学生の意見・要望の把握に関しては、「浜松学院大学アドバイザーに関する規程」に基づき、アドバイザーとなる教員が窓口となり、学務委員会や健康管理センターと連携して対応を行っている。小規模大学であるため、各学生の状況について教職員が把握しており、その都度適切に対応を行っている。また、対応の中で得られた情報については、重要性・必要性に応じて運営会議、教授会で報告することで全学に周知し、各委員会や担当部署で検証し、その対応・改善に努めている。

更に、令和4(2022)年度から、心身に関する健康相談、経済的支援をはじめとする学生生活に関して、「学生生活に関するアンケート」を実施している。アンケートで得られた結果について学務委員会において報告し、今後の心身の健康に関するセミナーの企画や奨学金の内容の検証等を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：

本学 HP <https://www.hamagaku.ac.jp/hgu/guide/kyouiku/> にて公表している。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。